

報告案件資料

・利根川総合水系環境整備事業(中川・綾瀬川環境整備)

令和5年12月18日

国土交通省 関東地方整備局

事業の審議状況

【利根川水系中川・綾瀬川河川整備計画フォローアップ委員会】

令和5年12月5日(火)

委員：埼玉大学 田中委員長、埼玉県立歴史と民俗の博物館 末木委員、日本大学 手塚委員、
(公財)埼玉県生態系保護協会 堂本委員、東京工業大学 中村委員、東京理科大学 二瓶委員、
(一財)自然環境研究センター 畠瀬委員、芝浦工業大学 平林委員

利根川総合水系環境整備事業(中川・綾瀬川環境整備) 再評価

・事業継続について了承



委員会開催状況

(再評価)利根川総合水系環境整備事業(中川・綾瀬川環境整備)

1. 目的

- 【水辺整備】誰もが安心して水辺や自然とふれあえる水辺空間の整備
- 【水環境】水質改善

2. 事業概要

(前回)

事業概要: 【水辺整備】ワンド整備 等

【水環境】浚渫、浄化導水、
河川浄化施設の整備 (完了)

事業期間: 昭和55年度～令和7年度
(1980年度) (2025年度)

全体事業費: 約345億円

(今回)

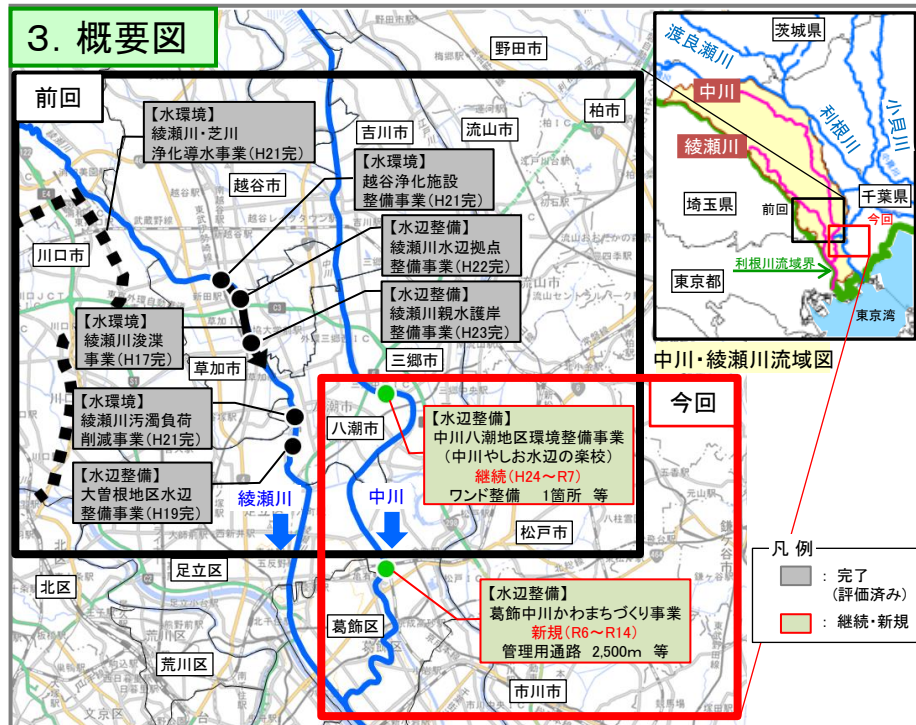
【水辺整備】ワンド整備 等
管理用通路(散策路) 等
(新たに着手)

平成24年度～令和14年度
(2012年度) (2032年度)

約20億円

(注)「総合水系環境整備事業の事業評価の運用」の一部変更(R3.12)により、完了箇所評価が完了した事業は水系の事業計画から除外することとなったため、事業開始年度の変更や事業費の大幅な減額が生じている。

3. 概要図



4. 事業の進捗状況等

【水辺整備】

- 中川八潮地区環境整備事業は、令和4年度に工事が完了し、水辺の協議会等が主体となった利活用等が開始されている。現在は、整備効果を確認するためにモニタリング調査を行っている。
- 葛飾中川かわまちづくり事業は、管理用通路等の整備(水辺の散策路の連続的な整備)を令和6年度より新たに着手する。

■中川八潮地区環境整備事業 利用状況



中川やしお水辺の楽校
(H24~R7)

■葛飾中川かわまちづくり事業 整備イメージ



整備前の状況 (R6~R14) 整備後のイメージ

5. 事業の効果等

【水辺整備】

- 環境学習や自然体験活動等が開催されるなど利用者数が増加する。
- 歩行回遊性が向上し、地域の賑わいが創出される。

6. 事業の投資効率性

【事業全体】

	(前回)	(今回)
総便益B:	約 1487億円	約 208億円
総費用C:	約 896億円	約 20億円
B/C=	1.7	10.5

B, C: 現在価値化後

7. 対応方針(案)

- 事業継続とする。
- 本事業は、河川空間を活用し賑わいの創出を行うとともに、河川の安全で安心な利用に寄与するものであり、事業の必要性・重要性は高く、中川八潮地区環境整備事業のモニタリングを継続し、葛飾中川かわまちづくり事業に新たに着手することが妥当と考える。